

# 3月観察会の活動報告

日時：3月26日（日） 10：00～12：00

場所：レクの森 森林展示館周辺

テーマ：「冬芽のずかんをつくってみよう！」

講師：水本絵夢（教育林コーディネーター）



●今回は樹木の冬芽をみなさんにかんさつ、スケッチしていただき、それをもとにずかんをつくってみよう！というテーマのかんさつ会でした。当日はすっかり春のあたたかさで、冬芽からすでにあたらしい芽をだしているものもありました！



↑みじかい毛のはえたサワグルミとオニグルミの冬芽。葉のおちたあとが顔にみえました。

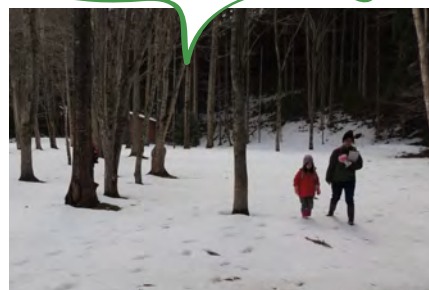
キツネ？



ヒツジ？

↑サワグルミはもう冬芽をおおっていた「いんぺん」がはがれ、あたらしい芽が顔をだしていました！

雪のそばはやっぱり  
まだすこしさむいです



↓タヌキのふんのあとでしょうか。ふかふかのニワトコのたねだけがのこされていました。



←カツラの枝にバツ十のようなシルエットが…。→おちていたのはカツラのたねの殻でした。4月にはいと葉より先に花がさきはじめます。



↓カシワの冬芽は去年のかれた葉にすっぽりつつまれています。海岸ぞいにおおいカシワはこうして冬芽を風や潮からまもるのです。



↓アキタフキの芽であるふきのとうがあちこちに！ちょっと中の芽のようすをみせてもらいました。だんだん春がちかづいているのをかんじますね～



↑こちらはヒマラヤスギの種果。去年は特にたくさんみっていたようにおもわれます。バラの花のようにきれいです。「パイでこういうふうにつくったらおいしそう」という声も。そういわれるとおいしそうにみえます…。



おつかれさまでした！